

2026年度

高野山高等学校

通信制課程

通信教育実施計画

## 目次

- ◎ 年間指導計画 日程表
- ◎ 添削課題提出日・報告課題提出日 一覧
- ◎ 面接指導実施日・試験実施日 日程表
- ◎ 特別活動 指導計画 一覧

## 目次

### ◎ 各教科・科目 指導計画

#### ○ 国語科

- ・ 現代の国語
- ・ 言語文化
- ・ 論理国語
- ・ 文学国語
- ・ 古典探究

#### ○ 地理歴史科

- ・ 地理総合
- ・ 歴史総合

#### ○ 公民科

- ・ 公共

#### ○ 数学科

- ・ 数学Ⅰ
- ・ 数学Ⅱ
- ・ 数学A
- ・ 数学B ※

#### ○ 理科

- ・ 科学と人間生活
- ・ 化学基礎
- ・ 生物基礎

#### ○ 保健体育科

- ・ 体育Ⅰ
- ・ 体育Ⅱ
- ・ 保健

#### ○ 芸術科

- ・ 書道Ⅰ

#### ○ 外国語科

- ・ 英語コミュニケーションⅠ
- ・ 英語コミュニケーションⅡ

#### ○ 家庭科

- ・ 家庭総合

#### ○ 情報科

- ・ 情報Ⅰ

#### ○ 総合的な探究の時間

- ・ 人権学習 ※
- ・ 地域学習

#### ○ 学校設定科目

- ・ 宗教一般（弘法大師伝）
- ・ 宗教一般（釈尊伝） ※
- ・ 宗教一般（仏教概論）
- ・ 社会福祉基礎
- ・ 介護概論
- ・ 介護実践
- ・ 初心真言宗勤行入門
- ・ 宿坊体験
- ・ 高野山名所探究

※ 2026年度は開講せず

◎年間指導計画 日程表

←通信制課程の主な行事  
←学校事務の休業日

←特別活動（希望制）

2026年4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水		1	金	創立記念日	1	月		1	水		1	土		1	火	
2	木		2	土	学校休業日	2	火		2	木		2	日		2	水	
3	金	在校生履修登録期限	3	日	憲法記念日	3	水		3	金		3	月		3	木	
4	土	入学式・オリエンテーション	4	月	みどりの日	4	木		4	土		4	火		4	金	
5	日		5	火	こどもの日	5	金		5	日		5	水		5	土	
6	月		6	水	振替休日	6	土		6	月		6	木		6	日	
7	火		7	木		7	日		7	火		7	金		7	月	
8	水		8	金		8	月		8	水		8	土		8	火	
9	木		9	土		9	火		9	木		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水		10	金		10	月		10	木	
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火	山の日	11	金	
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水	学校休業日	12	土	
13	月		13	水		13	土		13	月		13	木	お盆休み	13	日	
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金	お盆休み	14	月	
15	水		15	金		15	月	降誕会・青葉まつり	15	水		15	土	お盆休み	15	火	
16	木		16	土		16	火		16	木		16	日		16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金		17	月		17	木	
18	土		18	月		18	木		18	土		18	火	前期スクーリング	18	金	
19	日		19	火		19	金		19	日		19	水	前期スクーリング	19	土	学校休業日
20	月		20	水		20	土	学校休業日	20	月	海の日	20	木	前期スクーリング	20	日	
21	火	学習教材発送 ～ 学習教材到着	21	木	廟参	21	日		21	火		21	金	前期スクーリング	21	月	敬老の日
22	水	新年度 学習開始	22	金		22	月		22	水		22	土	前期単位認定試験	22	火	国民の休日
23	木		23	土		23	火		23	木		23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	日		24	水		24	金		24	月		24	木	
25	土		25	月		25	木		25	土	学校休業日	25	火		25	金	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水		26	土	
27	月		27	水		27	土		27	月		27	木		27	日	
28	火	遠足	28	木		28	日		28	火	7/31までにレポート・視聴報告書を提出した科目は前期単位認定試験を受験できます。	28	金		28	月	
29	水	昭和の日	29	金		29	月		29	水		29	土		29	火	
30	木	学校休業日	30	土		30	火		30	木		30	日		30	水	
			31	日					31	金		31	月				

10月			11月			12月			2025年1月			2月			3月		
1	木		1	日		1	火		1	金	元日	1	月		1	月	
2	金		2	月		2	水		2	土	冬季休業	2	火		2	火	
3	土		3	火	文化の日	3	木		3	日	冬季休業	3	水		3	水	
4	日		4	水		4	金		4	月	冬季休業	4	木		4	木	
5	月		5	木		5	土		5	火	学校休業日	5	金		5	金	
6	火		6	金		6	日		6	水		6	土	学校休業日	6	土	
7	水		7	土	学校休業日	7	月		7	木		7	日		7	日	
8	木		8	日		8	火		8	金		8	月		8	月	
9	金		9	月		9	水		9	土		9	火		9	火	
10	土	学校休業日	10	火		10	木		10	日		10	水		10	水	臨時判定会
11	日		11	水		11	金		11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	
12	月	スポーツの日	12	木		12	土		12	火		12	金		12	金	
13	火		13	金		13	日		13	水		13	土		13	土	卒業式
14	水		14	土		14	月		14	木		14	日		14	日	
15	木		15	日		15	火	後期スクーリング	15	金		15	月		15	月	
16	金		16	月		16	水	後期スクーリング	16	土		16	火		16	火	
17	土		17	火		17	木	後期スクーリング	17	日		17	水		17	水	
18	日		18	水		18	金	後期スクーリング	18	月		18	木		18	木	
19	月		19	木		19	土	後期単位認定試験	19	火		19	金		19	金	
20	火		20	金	南嶺祭	20	日		20	水		20	土	最終単位認定試験	20	土	
21	水	創立140周年記念式典	21	土	南嶺祭	21	月		21	木	廟参	21	日		21	日	春分の日
22	木		22	日		22	火		22	金		22	月		22	月	振替休日
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水		23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	
24	土		24	火		24	木		24	日		24	水		24	水	
25	日		25	水		25	金		25	月		25	木		25	木	
26	月		26	木		26	土	学校休業日	26	火	1/31はレポート・視聴報告書の遅刻提出締切です。これ以降は、一切受付はできません。この日までに提出した科目は最終単位認定試験を受験できます。	26	金		26	金	
27	火		27	金		27	日		27	水		27	土	卒業・進級判定会	27	土	
28	水		28	土		28	月	冬季休業	28	木		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火	冬季休業	29	金					29	月	
30	金		30	月		30	水	冬季休業	30	土					30	火	
31	土					31	木	冬季休業	31	日					31	水	

◎添削課題提出日・報告課題提出日 一覧

教科	科目	添削課題提出日												報告課題提出日			
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	1回	2回	3回	4回
国語	現代の国語	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	言語文化	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	論理国語	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日	11月30日	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	文学国語	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日	11月30日	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	古典探究	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日	11月30日	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
地理歴史	地理総合	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	歴史総合	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
公民	公共	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日							6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
数学	数学Ⅰ	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日				6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	数学Ⅱ	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	数学A	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	数学B	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
理科	科学と人間生活	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日							6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
	化学基礎	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日							6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
	生物基礎	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日							6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
保健体育	体育Ⅰ	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日									6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	体育Ⅱ	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日									6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	保健	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日							6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
芸術	書道Ⅰ	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日							6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
外国語	英語コミュニケーションⅠ	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日				6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
	英語コミュニケーションⅡ	6月15日	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日	11月30日	6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
家庭	家庭総合	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日	11月30日					6月15日	7月31日	10月31日	11月30日
情報	情報Ⅰ	6月15日	6月15日	7月31日	7月31日									6月15日	6月15日	7月31日	7月31日
総合的な 探究の時間	人権学習	6月15日	7月31日														
	地域学習	10月31日	11月30日														
学校 設定 教科 (20 単 位 ま で)	宗教一般Ⅰ(弘法大師伝)	7月31日	10月31日														
	宗教一般Ⅱ(釈尊伝)	7月31日	10月31日														
	宗教一般Ⅲ(仏教概論)	7月31日	7月31日	10月31日	10月31日	11月30日											
	社会福祉基礎	7月31日	10月31日														
	介護概論	7月31日	10月31日														
	介護実践	7月31日	10月31日														
	初心 真言宗勤行入門	6月15日	7月31日	10月31日													
	宿坊体験	6月15日	7月31日	10月31日													
高野山名所探究	6月15日	7月31日	10月31日														

メディア学習なし

- ※ 上記の提出日は計画的に学習を進める上での目安である。
- ※ 通常の提出締切日は12月31日（必着）とする。
- ※ 12月31日以降に提出されたものについては、遅刻提出とし、減点評価の対象とする。
- ※ 最終の提出締切日は1月31日（必着）とし、それ以降の提出は年度内における単位認定の対象とならない。

◎面接指導実施日・試験実施日 日程表①

8月スクーリング	面接指導				単位認定試験
	8/18 (火)	8/19 (水)	8/20 (木)	8/21 (金)	8/22 (土)
① 9:10~10:00	高野山名所探究	初心真言宗勤行入門	初心真言宗勤行入門	書道 I	単位認定試験
② 10:10~11:00	高野山名所探究	科学と人間生活	弘法大師伝	書道 I	
③ 11:10~12:00	特別活動 (高野山大学)	科学と人間生活	弘法大師伝	家庭総合	
昼	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
④ 12:40~13:30	特別活動 (霊宝館)	英語C I	化学基礎	家庭総合	単位認定試験
⑤ 13:40~14:30	特別活動 (霊宝館)	英語C I	化学基礎	生物基礎	
⑥ 14:40~15:30	特別活動 (霊宝館)	英語C I	情報 I	生物基礎	
⑦ 15:40~16:30	宿坊体験	体育 I・II	英語C II	英語C II	
⑧ 16:40~17:30	宿坊体験	体育 I・II	英語C II	英語C II	
⑨ 17:40~18:30					

◎面接指導実施日・試験実施日 日程表②

	面接指導				単位認定試験
12月スクーリング	12/15 (火)	12/16 (水)	12/17 (木)	12/18(金)	12/19(土)
① 9:10～10:00		公共	保健	古典探究	単位認定試験
② 10:10～11:00	特別活動 (種智院大学)	地理総合	仏教概論	介護実践	
③ 11:10～12:00	特別活動 (種智院大学)	歴史総合	仏教概論	介護実践	
昼	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
④ 12:40～13:30	特別活動 (京都研修)	体育Ⅰ・Ⅱ	現代の国語	文学国語	単位認定試験
⑤ 13:40～14:30	特別活動 (京都研修)	体育Ⅰ・Ⅱ	言語文化	介護概論	
⑥ 14:40～15:30	特別活動 (京都研修)	社会福祉基礎	数学Ⅰ	介護概論	
⑦ 15:40～16:30	特別活動 (京都研修)	社会福祉基礎	数学A	地域学習	
⑧ 16:40～17:30		論理国語	数学Ⅱ	地域学習	
⑨ 17:40～18:30					

◎面接指導実施日・試験実施日 日程表③

2月スクーリング	面接指導				単位認定試験
	2/16 (火)	2/17 (水)	2/18 (木)	2/19 (金)	2/20 (土)
① 9:10～10:00	論理国語	生物基礎	体育Ⅰ・Ⅱ	情報Ⅰ	単位認定試験
② 10:10～11:00	文学国語	生物基礎	体育Ⅰ・Ⅱ	書道Ⅰ	
③ 11:10～12:00	古典探究	化学基礎	英語CⅠ	書道Ⅰ	
昼	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
④ 12:40～13:30	数学Ⅰ	化学基礎	英語CⅠ		単位認定試験
⑤ 13:40～14:30	数学Ⅱ	家庭総合	英語CⅡ		
⑥ 14:40～15:30	科学と人間生活	家庭総合	英語CⅡ		
⑦ 15:40～16:30	科学と人間生活	体育Ⅰ・Ⅱ	英語CⅡ		
⑧ 16:40～17:30		体育Ⅰ・Ⅱ			
⑨ 17:40～18:30					

◎特別活動 指導計画 一覧

活動	内容	時期	各活動・学校行事	学習指導要領 内容	学習指導要領 内容詳細
入学式	式典参列	4月	学校行事	儀式的行事	
履修登録オリエンテーション	年間の学習に関するガイダンス および履修登録	4月	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	ア 学校生活と社会的・職業 的自立の意義の理解
金剛峯寺参拝		8月スクーリング時	学校行事	儀式的行事	
霊宝館 体験学習	文化財に触れる	8月スクーリング時	学校行事	文化的行事	
伽藍参拝	世界遺産に触れる	8月スクーリング時	学校行事	文化的行事	
高野山大学案内	進路の選択肢として実際の大学を 見学する	8月スクーリング時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	エ 主体的な進路の選択決定 と将来設計
高野山高校図書室案内	学校図書室の活用を学ぶ	8月スクーリング時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	イ 主体的な学習態度の確立 と学校図書館等の活用
文化祭	学習発表 (特活の課題を展示)	11月文化祭	学校行事	文化的行事	
京都研修	真言宗ゆかりの地を巡る	12月スクーリング時	学校行事	旅行・集団宿泊的行事	
種智院大学案内	進路の選択肢として実際の大学を 見学する	12月スクーリング時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	エ 主体的な進路の選択決定 と将来設計
宝来講座	新年に向けて、宝来を作成する	12月スクーリング時	学校行事	文化的行事	
卒業式	式典参列	3月	学校行事	儀式的行事	
廟参	弘法大師の御廟への参拝	毎月21日	学校行事	旅行・集団宿泊的行事	
写経	般若心経を写し、心を整える	スクーリング時	学校行事	文化的行事	
写仏講座	仏を写し、心を整える	スクーリング時	学校行事	文化的行事	
手紙の書き方講座	手紙の書き方を学び、社会人とし ての基礎を築く	スクーリング時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	ウ 社会参画意識の醸成や勤 労観・職業観の形成
ボランティア活動	アルミ缶回収活動・ごみ拾い等	随時	学校行事	勤労生産・奉仕的行事	
進路相談(進学)	受験に関する各種相談・必要書類 作成の助言等	随時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	エ 主体的な進路の選択決定 と将来設計
進路相談(就職)	就職に関する各種相談・必要書類 作成の助言等	随時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	エ 主体的な進路の選択決定 と将来設計
面接対策講座	面接におけるマナー・回答に関す る指導、実戦練習	随時	ホームルーム活動	(3) 一人一人のキャリア 形成と自己実現	ウ 社会参画意識の醸成や勤 労観・職業観の形成

◎ 各教科・科目 指導計画

○ 国語科

教科名	国語		
科目名	現代の国語		
担当教員	山本七重 榊原啓優		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	新編 現代の国語（東京書籍、現国002-901）		
目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
添削指導 *1	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こそそめスープ</li> <li>・ルリボシカミキリの青</li> </ul>	
	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来をつくる想像力</li> <li>・水の東西</li> </ul>	
	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキマが育む都市の緑と生命のつながり</li> <li>・無彩の色</li> <li>・ハサミ</li> </ul>	
	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋洗いの日々</li> <li>・森で染める人</li> <li>・動きを引き出す言葉の力</li> </ul>	
	5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しさの発見</li> <li>・りんごのほっぺ</li> <li>・人生という旅の豊かな人間関係</li> </ul>	
	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天動説はなぜ「正しかった」か？</li> <li>・真の自立とは</li> </ul>	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	「水の東西」を読む
	2回	「こそそめスープ」を読む
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 「こそそめスープ」
	2回	東京書籍インターネット講座 「水の東西」
	3回	NHK高校講座 現代の国語 メディアとかしこくつきあおう
	4回	NHK高校講座 現代の国語 「ファクト」と「フェイク」
単位認定試験範囲	「こそそめスープ」 「水の東西」	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

現代の国語

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限る）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	国語		
科目名	言語文化		
担当教員	山本七重 榊原啓優		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	新編 言語文化（東京書籍、言文002-901）		
目標	我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
添削指導 *1	1回	【随筆】・さくらさくらさくら ・心の自由 【小説】・とんかつ ・オレンジの実る中庭	
	2回	【詩歌】・柳あをめる〔短歌〕 ・雪の深さを〔俳句〕 ・冬が来た ・少年の日 ・I was born	
	3回	【小説】・羅生門 ・夢十夜 ・デューク	
	4回	【随筆】・徒然草 ・枕草子 【詩歌】・折々のうた	
	5回	【物語】・伊勢物語 ・平家物語 【紀行文】・奥の細道	
	6回	【漢文入門】・訓読の基本 ・故事成語 【漢詩】・絶句と律詩 ・論語 ・史話	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	小説「羅生門」を読む *スクーリング前に本文を読んでおくこと。
	2回	物語「伊勢物語」芥川を読む *スクーリング前に本文を読んでおくこと。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 小説「羅生門」
	2回	東京書籍インターネット講座 随筆「伊勢物語」芥川
	3回	NHK高校講座 言語文化 古文に親しむ
	4回	NHK高校講座 言語文化 漢文「訓読の基本」(1) (2)
単位認定試験範囲	小説「羅生門」・随筆「伊勢物語」芥川・漢文入門「訓読の基本」	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 言語文化

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限り)

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	国語		
科目名	論理国語		
担当教員	榊原啓優		
単位数	4	履修基準	選択
使用教科書	新編 論理国語（東京書籍、論国701）		
目標	論理的、批判的に考える力を伸ばす。 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
添削指導 *1	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話とは何か</li> <li>・世界をつくり替えるために</li> </ul>	
	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少女たちの「ひろしま」</li> <li>・「ふしぎ」ということ</li> </ul>	
	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことと人間の知恵</li> <li>・ラップトップを抱えた「石器人」</li> </ul>	
	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考の肺活量</li> <li>・安心について</li> </ul>	
	5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱肉強食は自然の摂理か</li> <li>・複数の「わたし」</li> </ul>	
	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに「言葉」がある</li> <li>・楽に働くこと、楽しく働くこと</li> </ul>	
	7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のペンギン</li> <li>・豊かさと生物多様性</li> </ul>	
	8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の外から</li> <li>・カフェの开店準備</li> </ul>	
	9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡としてのアンドロイド</li> <li>・ロボットが隣人になるとき</li> </ul>	
	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉は「物の名前」ではない</li> <li>・科学的「発見」とは</li> </ul>	
	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識における作者性と構造的性</li> <li>・もう一つの知性</li> </ul>	
	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンモノのおカネの作り方</li> <li>・未来のありか</li> </ul>	

面接指導 *2	1回	論理的文章の構造①
	2回	論理的文章の構造②
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 「少女たちの『ひろしま』」
	2回	東京書籍インターネット講座 「学ぶことと人間の知恵」
	3回	NHK高校講座 論理国語 「1論理国語とは」
	4回	NHK高校講座 論理国語 「2つなげる力とは」
単位認定試験範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「少女たちの『ひろしま』」「学ぶことと人間の知恵」のいずれかから出題</li> <li>・スクーリングで学んだ論理的文章の構造について出題</li> </ul>	
評価方法	<p>レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。</p>	

## 論理国語

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	国語		
科目名	文学国語		
担当教員	榊原啓優		
単位数	4	履修基準	選択
使用教科書	文学国語（東京書籍、文国701）		
目標	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深める。		
添削指導 *1	1回	・光の窓 ・雨月物語 ・山月記	
	2回	・窓 ・言葉を生きる ・詩と感情生活	
	3回	・山椒魚 ・沖縄の手記から	
	4回	・隼 ・竹 ・永訣の朝 ・硝子の駒 ・モードの変遷	
	5回	・こころ	
	6回	・文学のふるさと ・文学の未来 ・鞆 ・あの朝	
	7回	・国語から旅立って ・書かれた風景の中へ ・檸檬	
	8回	・コンビニの母 ・夏の姿 ・帰途 ・小諸なる古城のほとり ・金剛の露 ・平気	
	9回	・空っぽの瓶 ・クレールという女 ・父と暮らせば	
	10回	・舞姫	
	11回	・演技する「私」 ・映画の可能性のために	
	12回	・葉桜と魔笛 ・縄	

面接指導 *2	1回	近代文学史について①
	2回	近代文学史について②
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 1部 4小説 「山椒魚」
	2回	東京書籍インターネット講座 1部 5詩歌 「永訣の朝」
	3回	NHK高校講座 文学国語 現代文 「山月記」
	4回	NHK高校講座 文学国語 「永訣の朝」
単位認定試験範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>『山月記』『山椒魚』『ころ』『舞姫』のいずれかから出題</li> <li>・スクーリングで学んだ近代文学史から出題</li> </ul>	
評価方法	<p>レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。</p>	

文学国語

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	国語		
科目名	古典探究		
担当教員	古谷真帆 榊原啓優		
単位数	4	履修基準	選択
使用教科書	新編 古典探究（東京書籍、古探701）		
目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
添削指導 *1	1回	・宇治拾遺物語 ・十訓抄 ・徒然草	
	2回	・方丈記 ・竹取物語 ・小倉百人一首の世界	
	3回	・土佐日記 ・更級日記 ・平家物語	
	4回	・世間胸算用 ・おらが春 ・枕草子	
	5回	・伊勢物語 ・大和物語 ・大鏡	
	6回	・袋草紙 ・無名抄 ・古今和歌集仮名序 ・源氏物語	
	7回	・近世俳句抄 ・去来抄 ・三冊子 ・古事記	
	8回	・小話一四編 ・唐詩一八編 ・文一二編	
	9回	・項羽と劉邦 ・寓話一五編	
	10回	・十八史略 ・小話一三編	
	11回	・古体詩一五首 ・廉頗と藺相如	
	12回	・儒家と道家 ・詩一二編 ・信玄と謙信	

面接指導 *2	1回	『平家物語』～高野山と文学～① 『平家物語』と高野山との関りを解説します。
	2回	『平家物語』～高野山と文学～② 『平家物語』と高野山との関りを解説します。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 古文編Ⅰ部「平家物語 壇の浦の合戦」
	2回	東京書籍インターネット講座 古文編Ⅱ部「伊勢物語 初冠」
	3回	NHK高校講座 古典「十訓抄」
	4回	NHK高校講座 古典「源氏物語 ～光る君誕生(1)～」
単位認定試験範囲	「平家物語」「伊勢物語」「源氏物語」「信玄と謙信」から出題	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 古典探究

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限る)
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 地理歷史科

教科名	地理歴史		
科目名	地理総合		
担当教員	塩崎良樹		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	地理総合（東京書籍、地総002-901）		
目標	社会的事象を地理的な見方・考え方で捉え、課題を追究・解決する活動を通して、グローバル化する国際社会で主体的に生きるための公民としての資質・能力を養う		
添削指導 *1	1回	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 私たちが暮らす世界 2節 地図や地理情報システムの役割	
	2回	第2章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	
	3回	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	
	4回	4節 生活文化と社会環境①産業 5節 生活文化と社会環境②宗教・民族 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	
	5回	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 7節 持続可能な社会の実現をめざして	
	6回	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	『日本の世界遺産』解説
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 地理総合 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 地理総合 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 地理総合 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 地理総合 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	「日本の世界遺産」について記述	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

地理総合

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	地理歴史		
科目名	歴史総合		
担当教員	塩崎良樹		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	歴史総合（東京書籍、歴総002-901）		
目標	近現代史における「世界とその中の日本」を相互的な視野で捉え、 現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する		
添削指導 *1	1回	序 章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	
	2回	3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題	
	3回	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	
	4回	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
	5回	第3章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	
	6回	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	『第一次世界大戦後～第二次世界大戦』解説
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 歴史総合 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 歴史総合 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 歴史総合 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 歴史総合 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	「第二次世界大戦と平和」について記述	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

歴史総合

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 公民科

教科名	公民		
科目名	公共		
担当教員	塩崎良樹		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	公共（東京書籍、公共002-901）		
目標	社会の一員として、現代社会の課題を主体的に考え、解決していく力を養う		
添削指導 *1	1回	第1部 公共のとびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第3章 公共的な空間における倫理 第4章 公共的な空間における基本的原理	
	2回	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち テーマ1	
	3回	第2章 法の働きと私たち テーマ2・3・4	
	4回	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ5・6・7	
	5回	第4章 私たちの職業生活 テーマ8・9 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ10・11	
	6回	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ12・13 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	自由権・社会権について
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 公共 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 公共 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 公共 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 公共 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	「我々に認められている権利」について記述（601～800字）	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

公共

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限る）

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 数学科

教科名	数学		
科目名	数学Ⅰ		
担当教員	荒木栄三		
単位数	3	履修基準	必修
使用教科書	改訂版 新数学Ⅰ（東京書籍、数Ⅰ002-905）		
目標	数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、 数学的な表現や処理の仕方を習得する		
添削指導 *1	1回	1章 1節 文字と式	
	2回	1章 2節 実数	
	3回	1章 3節 方程式と不等式	
	4回	2章 1節 2次関数とそのグラフ	
	5回	2章 2節 2次関数の値の変化	
	6回	3章 1節 鋭角の三角比	
	7回	3章 2節 三角比の応用	
	8回	4章 1節 データの分析	
	9回	5章 1節 集合と論証	
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	教科書・レポートの内容解説① 教科書・レポート9枚を持参してください。
	2回	教科書・レポートの内容解説② 教科書・レポート9枚を持参してください。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 数学Ⅰ 「節の●」を3つ分報告してください。
	2回	東京書籍インターネット講座 数学Ⅰ 「節の●」を3つ分報告してください。
	3回	NHK高校講座 数学Ⅰ 第1回～第40回のうち、3回分を報告してください。
	4回	NHK高校講座 数学Ⅰ 第1回～第40回のうち、3回分を報告してください。
単位認定試験範囲	教科書(P.31～161まで)、レポート9枚、スクーリングの内容	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

数学Ⅰ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

- ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限り)
- ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
- ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
- ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	数学		
科目名	数学Ⅱ		
担当教員	荒木栄三		
単位数	4	履修基準	選択
使用教科書	新数学Ⅱ（東京書籍、数Ⅱ717）		
目標	<p>数学Ⅰで学んだ内容を基に、指数関数、三角関数、図形と方程式、微分・積分などの概念を理解し、それらを活用して事象を数学的に考察し処理する能力を養う。          数学的な思考力や表現力を高め、数学を積極的に活用する態度を養う。</p>		
添削指導 *1	1回	1章 1節 式の計算	
	2回	1章 2節 2次方程式	
	3回	1章 3節 高次方程式 4節 式と証明	
	4回	2章 1節 座標と直線の方程式	
	5回	2章 2節 円の方程式 3節 不等式の表す領域	
	6回	3章 1節 三角関数	
	7回	3章 2節 加法定理	
	8回	4章 1節 指数関数	
	9回	4章 2節 対数関数	
	10回	5章 1節 微分係数と導関数微分と積分	
	11回	5章 2節 導関数の応用	
	12回	5章 3節 積分	

面接指導 *2	1回	教科書・レポートの内容解説① 教科書・レポート12枚を持参してください。
	2回	教科書・レポートの内容解説② 教科書・レポート12枚を持参してください。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 数学Ⅱ 「節の●」を3つ分報告してください。
	2回	東京書籍インターネット講座 数学Ⅱ 「節の●」を3つ分報告してください。
	3回	NHK高校講座 数学Ⅱ 第1回～第40回のうち、3回分を報告してください。
	4回	NHK高校講座 数学Ⅱ 第1回～第40回のうち、3回分を報告してください。
単位認定試験範囲	教科書(P.3～133まで)、レポート12枚、スクーリングの内容	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 数学Ⅱ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限り)
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	数学		
科目名	数学A		
担当教員	荒木栄三		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	改訂版 新数学 A (東京書籍、数A002-905)		
目標	<p>平面図形、集合と論理、場合の数と確率について理解を深め、基礎的な知識と技能を習得し、事象を数学的に考察し処理する能力を養う。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようになる。</p>		
添削指導 *1	1回	1章 1節 場合の数	
	2回	1章 2節 確率 ①～④	
	3回	1章 2節 確率 ⑤～⑧	
	4回	2章 1節 平面図形の基礎	
	5回	2章 2節 三角形の性質	
	6回	2章 3節 円の性質 4節 空間図形	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	教科書・レポートの内容解説 教科書・レポート6枚を持参してください。
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 数学A 「3章 数学と人間の活動」 1節・2節
	2回	東京書籍インターネット講座 数学A 「3章 数学と人間の活動」 3節・4節
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	教科書(P.3～91まで)、レポート6枚、スクーリングの内容	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

数学A

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限る)

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	数学		
科目名	数学B		
担当教員	荒木栄三		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	数学B Standard (東京書籍、数B702)		
目標	数列、ベクトル、統計または数値計算について理解を深め、基礎的な知識と技能を習得し、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。		
添削指導 *1	1回	1章 1節 数列	
	2回	1章 2節 いろいろな数列	
	3回	1章 3節 漸化式と数学的帰納法	
	4回	2章 1節 標本調査	2節 確率分布
	5回	2章 3節 正規分布	
	6回	2章 4節 統計的な推測	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	教科書・レポートの内容解説 教科書・レポート6枚を持参してください。
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 数学A 「3章 数学と社会生活」 1節・2節
	2回	東京書籍インターネット講座 数学A 「3章 数学と社会生活」 3節・4節
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	教科書(P.3～140まで)、レポート6枚、スクーリングの内容	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 数学B

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

- ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限り)
- ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
- ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
- ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 理科

教科名	理科		
科目名	科学と人間生活		
担当教員	田村昌也 福島太郎		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	改訂 科学と人間生活（東京書籍、科人002-901）		
目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		
添削指導 *1	1回	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	
	2回	2章 ヒトの生命現象	
	3回	2編 物質の科学 1章 衣料と食品	
	4回	2章 材料とその再利用	
	5回	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	
	6回	2章 熱の性質とその利用	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	「太陽と地球」①
	2回	「太陽と地球」②
	3回	「太陽と地球」③
	4回	「太陽と地球」④
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 科学と人間生活 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 科学と人間生活 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 科学と人間生活 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 科学と人間生活 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	教科書から抜粋した試験範囲をスクーリング時にお伝えします。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 科学と人間生活

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限り)
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	理科		
科目名	化学基礎		
担当教員	田村昌也 福島太郎		
単位数	2	履修基準	「化学基礎」か「生物基礎」を選択
使用教科書	改訂 新編化学基礎（東京書籍、化基002-902）		
目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
添削指導 *1	1回	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	
	2回	2章 原子の構造と元素の周期表	
	3回	3章 化学結合	
	4回	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	
	5回	2章 酸と塩基	
	6回	3章 酸化還元反応	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	物質の構造①
	2回	物質の構造②
	3回	物質の構造③
	4回	物質の構造④
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 化学基礎 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 化学基礎 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 化学基礎 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 化学基礎 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	教科書から抜粋した試験範囲をスクーリング時にお伝えします。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 化学基礎

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	理科		
科目名	生物基礎		
担当教員	福島太郎 田村昌也		
単位数	2	履修基準	「化学基礎」か「生物基礎」を選択
使用教科書	改訂 新編生物基礎（東京書籍、生基002-902）		
目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
添削指導 *1	1回	1編 生物の特徴	
	2回	2編 遺伝子とのはたらき	
	3回	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	
	4回	2章 免疫のはたらき	
	5回	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	
	6回	2章 生態系と生物の多様性	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 * 2	1回	生態系と生物の多様性①
	2回	生態系と生物の多様性②
	3回	生態系と生物の多様性③
	4回	生態系と生物の多様性④
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 * 2	1回	東京書籍インターネット講座 生物基礎 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 生物基礎 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 生物基礎 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 生物基礎 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	教科書から抜粋した試験範囲をスクーリング時にお伝えします。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

## 生物基礎

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 保健体育科

教科名	保健体育		
科目名	体育Ⅰ		
担当教員	林秀行 今井邦夫 岡本美空 和中裕輔		
単位数	4	履修基準	必修
使用教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館、保体701）、ステップアップ高校スポーツ		
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。		
添削指導 *1	1回	1,運動・スポーツの文化的特徴 2,スポーツの始まりと変遷～4,オリンピックと国際理解	
	2回	1,運動・スポーツの文化的特徴 5,スポーツと経済～2,運動・スポーツの学び方 2,技能の上達過程と練習	
	3回	2,運動・スポーツの学び方 3,効果的な動きのメカニズム～3,豊かなスポーツライフの設計 1,生涯スポーツの見方・考え方	
	4回	3,豊かなスポーツライフの設計 2,ライフスタイルに応じたスポーツ～4,スポーツと環境	
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動① ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	2回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動② ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	3回	実技（個人種目・団体種目）① 【球技】バレーボール・バドミントン・卓球 ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	4回	実技（個人種目・団体種目）② 【球技】バレーボール・バドミントン・卓球 ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	5回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動③ ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	6回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動④ ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	7回	実技（個人種目・団体種目）① 【球技】バスケットボール・フットサル ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	8回	実技（個人種目・団体種目）② 【球技】バスケットボール・フットサル ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 『701現代高等保健体育』体育実技編 1陸上競技、4水泳
	2回	東京書籍インターネット講座 『701現代高等保健体育』体育実技編 3器械運動
	3回	NHK高校講座 保健体育 第6回「スポーツの変遷とスポーツ文化」
	4回	NHK高校講座 保健体育 第7回「オリンピックとパラリンピックの意義」
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。授業での技能及び興味関心・取り組む姿勢・協調性・リーダーシップを総合的に評価する。	

## 体育 I

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	保健体育		
科目名	体育Ⅱ		
担当教員	林秀行 今井邦夫 岡本美空 和中裕輔		
単位数	4	履修基準	必修
使用教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館、保体701）、ステップアップ高校スポーツ		
目標	公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
添削指導 *1	1回	バレーボール バスケットボール ハンドボール	
	2回	サッカー ラグビー テニス	
	3回	卓球 バドミントン 野球・ソフトボール	
	4回	陸上競技 水泳 器械運動 剣道	
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動① ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	2回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動② ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	3回	実技（個人種目・団体種目）① 【球技】バレーボール・バドミントン・卓球 ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	4回	実技（個人種目・団体種目）② 【球技】バレーボール・バドミントン・卓球 ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	5回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動③ ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	6回	体づくり運動 柔軟運動 体幹運動④ ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	7回	実技（個人種目・団体種目）① 【球技】バスケットボール・フットサル ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
	8回	実技（個人種目・団体種目）② 【球技】バスケットボール・フットサル ※状況に応じて座学に変更する場合があります。
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 『701現代高等保健体育』体育実技編 サッカー・ラグビー・バスケットボール・ハンドボールから2項目選択して報告してください。
	2回	東京書籍インターネット講座 『701現代高等保健体育』体育実技編 器械運動・陸上競技・水泳・柔道・剣道から2項目選択して報告してください。
	3回	NHK高校講座 保健体育 13回・14回・20回・21回 体育 運動やスポーツの効果的な学習のしかた
	4回	NHK高校講座 保健体育 27回・28回・29回 体育 豊かなスポーツライフの設計のしかた
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。授業での技能及び興味関心・取り組む姿勢・協調性・リーダーシップを総合的に評価する。	

体育 I

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	保健体育		
科目名	保健		
担当教員	林秀行 岡本美空 今井邦夫		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館、保体701）		
目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
添削指導 *1	1回	現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち～	
	2回	現代社会と健康 精神疾患の特徴～	
	3回	安全な社会生活 事故の現状と発生要因～	
	4回	生涯を通じる健康 ライフステージと健康～	
	5回	生涯を通じる健康 結婚生活と健康～	
	6回	健康を支える環境づくり 大気汚染と健康～	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	今日の健康課題を一般時事から抽出し、様々なリスクファクターを知る。そのうえでの解決方法やリスクマネジメントを理解する。
	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座『701現代高等保健体育』保健編 安全な社会生活 事故の現状と発生要因
	2回	東京書籍インターネット講座『701現代高等保健体育』保健編 生涯を通じる健康 結婚生活と健康
	3回	NHK高校講座 保健体育 第1回 現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち
	4回	NHK高校講座 保健体育 第15回 現代社会と健康 精神疾患の特徴
単位認定試験範囲	『現代高等保健体育改訂版（大修館、保体701）』保健編から出題	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

保健

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 芸術科

教科名	芸術		
科目名	書道Ⅰ		
担当教員	松井千佳		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	書道Ⅰ（東京書籍、書Ⅰ002-901）		
目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。		
添削指導 *1	1回	書写から書道へ	
	2回	漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書	
	3回	行書	
	4回	草書 隸書 篆書	
	5回	仮名の書	
	6回	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	実技 姿勢・執筆法
	2回	実技 楷書を書く
	3回	鑑賞
	4回	創作
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 書道Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 書道Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 書道Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 書道Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験の代替として、課題提出・面接指導等を総合的に評価し、点数をつける。	

書道Ⅰ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 外国語科

教科名	外国語		
科目名	英語コミュニケーションⅠ		
担当教員	内間正史		
単位数	3	履修基準	必修
使用教科書	All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍、C I 002-901)		
目標	英語を通じた積極的なコミュニケーション能力の育成と、情報や考えを適切に理解・表現する基礎的な能力を養う。		
添削指導 *1	1回	Lesson1 Breakfast around the World Lesson2 Australia's Cute Quokkas	
	2回	Lesson3 Life with Spade	
	3回	Lesson4 A Miracle Mirror	
	4回	Lesson5 A Dream Engine	
	5回	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	
	6回	Lesson7 A Diary of Hope	
	7回	Lesson8 A Door to a New Life	
	8回	Lesson9 Ghosts in the Ocean	
	9回	Lesson10 Pigs from across the Sea	
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	英語の基礎知識①+英文法
	2回	英語の基礎知識②+英文法
	3回	英語の基礎知識③+英文法
	4回	英語の基礎知識④+英文法
	5回	英語の基礎知識⑤+英文法
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 英語コミュニケーションⅠ 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 英語コミュニケーションⅠ 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 英語コミュニケーションⅠ 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 英語コミュニケーションⅠ 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	スクーリングで行った内容。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

英語コミュニケーションⅠ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。(申請の上、認められた場合に限る)

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

教科名	外国語		
科目名	英語コミュニケーションⅡ		
担当教員	内間正史		
単位数	4	履修基準	選択
使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍、CⅡ701)		
目標	英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、英語を学ぶ楽しさを知り、学習したものを自分の言葉として伝えることができるようにする。		
添削指導 *1	1回	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson1 A Colorful Island	
	2回	Lesson2 With the Beatles	
	3回	Lesson3 Wild Men	
	4回	Lesson4 Little Hero	
	5回	Lesson5 Special Makeup in Kabuki	
	6回	Reading1 Mujina	
	7回	Lesson6 Seeds for Future Generations	
	8回	Lesson7 Over the Wall	
	9回	Lesson8 Inspiration from Nature	
	10回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate	
	11回	Lesson10 Fighting Angel	
	12回	Reading2 Bear's Pie	

面接指導 *2	1回	英語の基礎知識①+英文法
	2回	英語の基礎知識②+英文法
	3回	英語の基礎知識③+英文法
	4回	英語の基礎知識④+英文法
	5回	英語の基礎知識⑤+英文法
	6回	英語の基礎知識⑥+英文法
	7回	英語の基礎知識⑦+英文法
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 英語コミュニケーションⅡ 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 英語コミュニケーションⅡ 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 英語コミュニケーションⅡ 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 英語コミュニケーションⅡ 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	スクーリングで行った内容。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

英語コミュニケーションⅡ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

- ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限る）
- ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
- ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
- ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 家庭科

教科名	家庭		
科目名	家庭総合		
担当教員	田中直子		
単位数	4	履修基準	必修
使用教科書	家庭総合（東京書籍、家総002-901）		
目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		
添削指導 *1	1回	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す	
	2回	第2章 人生をつくる	
	3回	第3章 子どもと共に育つ	
	4回	第4章 超高齢社会を共に生きる	
	5回	第5章 共に生き、共に支える	
	6回	生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～4	
	7回	第6章 食生活をつくる 5～7	
	8回	第7章 衣生活をつくる	
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	座学または調理実習
	2回	座学または調理実習
	3回	第8章 住生活をつくる
	4回	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 家庭総合 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 家庭総合 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 家庭総合 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 家庭総合 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験の代替として、課題提出・面接指導等を総合的に評価し、点数をつける。	

家庭総合

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

- \*2
- ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。
  - ・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限り）
  - ・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。
  - ・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。
  - ・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 情報科

教科名	情報		
科目名	情報Ⅰ		
担当教員	瀧本明史		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	新編情報Ⅰ（東京書籍、情Ⅰ002-901）		
目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。		
添削指導 *1	1回	1章 情報で問題を解決する	
	2回	2章 情報を伝える	
	3回	3章 コンピュータを活用する	
	4回	4章 データを活用する	
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導 *2	1回	情報社会を生き抜くには①
	2回	情報社会を生き抜くには②
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定 *2	1回	東京書籍インターネット講座 情報Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	2回	東京書籍インターネット講座 情報Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	3回	NHK高校講座 情報Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
	4回	NHK高校講座 情報Ⅰ 視聴した中から好きな回を報告
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験の代替として、課題提出・面接指導等を総合的に評価し、点数をつける。	

情報Ⅰ

\*1 添削課題は必ず東京書籍インターネット講座を視聴しながら取り組むこと。

\*2 ・東京書籍インターネット講座の計画的・継続的な利用により、面接指導等時間数のうち、10分の6以内の時間数を免除する。

・生徒の実態等を考慮して特に必要がある場合、複数メディアを利用することにより、面接指導数を減免する。（申請の上、認められた場合に限る）

・複数メディアによる面接指導数の減免は、NHK高校講座を継続的に利用した学習により認める。

・報告課題の提出については、全ての生徒が必ず指定された1回・2回分を提出する。

・複数メディアの利用が認められた生徒は、加えて指定された3回・4回分を提出する。

○ 総合的な探究の時間

教科名	総合的な探究の時間		
科目名	人権学習		
担当教員	山本七重 古谷真帆 榊原啓優		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	人権作文を配布		
目標	人権についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしなが ら、持続可能な社会を実現するために、他者に対する寛容な態度を育てる。		
添削指導	1回	人権作文を読んでレポートを作成。	
	2回	身近にある人権問題を取り上げレポートを作成。	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	さまざまな人権問題についてDVDの鑑賞を通して、実際の事例に触れながら自分自身の考えを深める①
	2回	さまざまな人権問題についてDVDの鑑賞を通して、実際の事例に触れながら自分自身の考えを深める②
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。	

教科名	総合的な探究の時間		
科目名	地域学習		
担当教員	榊原啓優		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	なし		
目標	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。		
添削指導	1回	自分の住んでいる地域について調べてレポートする。	
	2回	調べたことをもとにして、地域の広告ポスターを作成する。	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	ストリートビューで高野山を巡り、地域の特性について考える。
	2回	地方自治・地方議会について学ぼう。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	筆記試験なし	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。	

## ○ 学校設定科目

教科名	学校設定科目		
科目名	宗教一般（弘法大師伝）		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	必修
使用教科書	青少年のための仏教読本（高野山真言宗布教研究所発行）		
目標	本校は弘法大師が開かれた高野山にあり、本校の教育理念は弘法大師の教えそのものであります。自身の生き方を学ぶ上でも弘法大師のご生涯を学び、弘法大師の教えに触れることを目標とします		
添削指導	1回	テキスト第1章「弘法大師伝」を熟読した上で、 ①お大師さまのご誕生からご出家まで ②お大師さまの大日経との出会いからご帰朝までについて それぞれ1200文字～1400文字で要約する内容	
	2回	テキスト第1章「弘法大師伝」を熟読した上で、 ①帰国後のお大師さまのご偉業 ②お大師さまの御入定から大師号御下賜までについて それぞれ1200文字～1400文字で要約する内容	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	「第1章 弘法大師伝」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	2回	「第1章 弘法大師伝」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	レポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに、指定した弘法大師伝の場面を要約説明（作文） *教科書持ち込み可能	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

宗教一般（弘法大師伝）

教科名	学校設定科目		
科目名	宗教一般（釈尊伝）		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	青少年のための仏教読本（高野山真言宗布教研究所発行）		
目標	本校は仏教の教えをもととしており、仏教の開祖「釈尊」のご生涯を学ぶことで私たちの生きる指針になることを目標とします		
添削指導	1回	テキスト第2章「釈尊伝」を熟読した上で、 ①お釈迦さまご誕生から王宮での太子まで ②お釈迦さまのご出家から苦行まで についてそれぞれ1200文字～1400文字で要約する内容	
	2回	テキスト第2章「釈尊伝」を熟読した上で、 ①お釈迦さまの成道から弟子たちまで ②お釈迦さまの最後の説法から涅槃までについて それぞれ1200文字～1400文字で要約する内容	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	「第2章 釈尊伝」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	2回	「第2章 釈尊伝」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	レポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに、指定した釈尊伝の場面を要約説明（作文） *教科書持ち込み可能	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

宗教一般（釈尊伝）

教科名	学校設定科目		
科目名	宗教一般（仏教概論）		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	青少年のための仏教読本（高野山真言宗布教研究所発行）		
目標	世界三大宗教の一つであるインド発祥の仏教がどのように日本に伝わり、日本の文化に浸透していったかを学ぶ。		
添削指導	1回	テキストP90～P92を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	2回	テキストP92～P96を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	3回	テキストP96～P98を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	4回	テキストP99～P103を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	5回	テキストP103～P111を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	「第3章 日本への仏教の伝播」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	2回	「第3章 日本への仏教の伝播」全体の解説 *テキスト『青少年のための仏教読本』持参
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	レポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに筆記試験 (語群より解答を見つけて記入する穴埋め問題)	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

宗教一般（仏教概論）

教科名	学校設定科目		
科目名	社会福祉基礎		
担当教員	今井邦夫		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	社会福祉基礎（実教出版、福祉701）		
目標	社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。		
添削指導	1回	社会福祉の理念と意義～社会福祉の歴史と次代の展望	
	2回	生活を支える社会福祉・社会保障制度	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	社会福祉の必要性を歴史を通じて学ぶ。 社会保障は「私たちの生活になくてはならないもの」であることを学ぶ。
	2回	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉を学ぶ。 社会保障・福祉は「現在どうあるべきか」を学ぶ。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	社会福祉の成り立ち、社会生活に存在する社会福祉について出題	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。	

社会福祉基礎

教科名	学校設定科目		
科目名	介護概論		
担当教員	今井邦夫		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	介護概論レポート作成参考資料（プリント配布）		
目標	社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。		
添削指導	1回	ケースワークの原則	
	2回	介護予防としてのケア～生活意欲を高める	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	ケースワークの原則（個別介護）の大切さを学ぶ。 介護予防、なるべく介護が必要ない日常生活を送る方法。
	2回	バイスティックの7原則について学び、自己の在り方を知る。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	バイスティックの7原則について出題	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。	

教科名	学校設定科目		
科目名	介護実践		
担当教員	今井邦夫		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	介護実践レポート作成参考資料（プリント配布）		
目標	社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。		
添削指導	1回	ADL・IADL～バイタルサインとバイタルチェック	
	2回	認知症	
	3回		
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	ADL・IADLとは何か？心と身体の健康の大切さを学ぶ。
	2回	介護を実践する上で重要な視点を学ぶ。
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	施設介護・在宅介護で大切な要素について出題	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。	

教科名	学校設定科目		
科目名	初心真言宗勤行入門		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	仏前勤行次第（高野山真言宗教学部発行）		
目標	真言宗で唱えられている仏前勤行次第に触れ、一緒にお唱えできるようになることを目指します。		
添削指導	1回	テキストP2～P5を熟読した上で、書写。	
	2回	テキストP6～P10を熟読した上で、書写。	
	3回	テキストP16～P26を熟読した上で、書写。	
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	『仏前勤行次第』全体の解説 *テキスト『仏前勤行次第』持参
	2回	『仏前勤行次第』全体の解説 *テキスト『仏前勤行次第』持参
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=ttSDiuzM6GA&amp;t=15s">https://www.youtube.com/watch?v=ttSDiuzM6GA&amp;t=15s</a> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=KNn0Z75fxCM&amp;t=324s">https://www.youtube.com/watch?v=KNn0Z75fxCM&amp;t=324s</a> 視聴報告はありませんが、上記動画を見て練習してください。 なお、動画は仏前勤行次第の前半部分までとなっており、 後半はスクーリングで解説し一緒に学びます。
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	レポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに実技試験。 (仏前勤行次第の読経 10分程度)を実施。	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

教科名	学校設定科目		
科目名	宿坊体験		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	なし		
目標	宿坊とは何かということを知り、また実際に体験して宿坊についてより深く知ることを目指します。		
添削指導	1回	(一般的な)宿坊について調べる。	
	2回	高野山の宿坊について調べる。	
	3回	スクーリングなどの機会に宿泊した宿坊について調べる。	
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	高野山の宿坊に宿泊し、その体験談をプレゼンテーションしあいます。 * 宿泊先は各自で手配してください。 (一般社団法人高野山宿坊協会 0736-56-2616でお尋ねや予約してください。宿泊代などは生徒個人の負担となります。宿泊キャンセルや宿泊先でのトラブルには本校は応じられません。)
	2回	高野山の宿坊に宿泊し、その体験談をプレゼンテーションしあいます。 * 宿泊先は各自で手配してください。 (一般社団法人高野山宿坊協会 0736-56-2616でお尋ねや予約してください。宿泊代などは生徒個人の負担となります。宿泊キャンセルや宿泊先でのトラブルには本校は応じられません。)
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	宿坊宿泊体験を行ったレポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに筆記試験	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	

宿坊体験

教科名	学校設定科目		
科目名	高野山名所探究		
担当教員	富田向真		
単位数	2	履修基準	選択
使用教科書	高野山（編集・発行 総本山金剛峯寺）		
目標	高野山は1200年の歴史を有しており、歴史的建造物やさまざまな見どころがあります。高野山の歴史に触れ、高野山のことをより深く知ってもらうことを目指します。		
添削指導	1回	テキストP22～P27を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	2回	テキストP8～P21を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	3回	テキストP42～P61を熟読した上で、その範囲の穴埋め問題を記入。	
	4回		
	5回		
	6回		
	7回		
	8回		
	9回		
	10回		
	11回		
	12回		

面接指導	1回	『高野山』全体の解説 *テキスト『高野山』持参
	2回	『高野山』全体の解説 *テキスト『高野山』持参
	3回	
	4回	
	5回	
	6回	
	7回	
	8回	
報告課題 提出回指定	1回	
	2回	
	3回	
	4回	
単位認定試験範囲	レポート範囲・スクーリングでの授業内容をもとに筆記試験 (語群より解答を見つけて記入する穴埋め問題)	
評価方法	レポートの添削指導により主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。レポートは40点以上を合格とし、満たない場合は再提出を求める。報告課題や面接指導により主に「思考・判断・表現」を評価する。単位認定試験や面接指導の際の実技等により主に「知識・技能」を評価する。単位認定試験は20点に満たない場合、補習として課題を与える。	